

令和4年度 学校評価報告書

令和5年3月13日

北海道教育委員会教育長 様

北海道美深高等養護学校長 濱 裕 晃 印
(あいべつ校)

次のとおり令和4年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- ① 「あいべつ校デュアルシステム」を時代のニーズに応じて検証し、改善する。
- ② GIGAスクール構想を推進する。
- ③ コミュニティ・スクール実施に向けて準備をする。
- ④ 選ばれ続ける学校として、各分野で魅力ある新製品を一つ開発する。
- ⑤ 業務改善5つの観点から働き方について検討する。
- ⑥ 開校10周年記念事業の検討を進める。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
教職員	<ul style="list-style-type: none"> ・【No.3】教育課程と【No.24】働き方改革で、肯定的回答が90%を下回っている結果になったが、その他の項目については肯定的な回答が90%を越えており、おおむね高い評価を得ることができていると考えられる。 ・ 個別の指導計画については、校内研究でも「個別最適な学び」などについて授業改善に取り組んでおり、説明責任を果たすことができるように、表現方法や発出の工夫をし、本人や保護者と情報を共有する必要がある。 ・ 働き方改革については、環境面でも工夫をするなど、健康でやりがいをもって勤務できるよう、業務の分担や協働を意識して業務の改善を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 【No.3】については、個別の指導計画（通知表）において評価が低くなっていることから、適切に評価されていないことだと思われる。その子に合った手立てや目標は何かをしっかりと検討する必要があると思われる。 ・ 「やや不十分」と回答されていることについて 生徒の回答の「いいえ」と関係があるのではないかと教職員の中で「やや不十分」と回答すると言うことは、その先生に関わった生徒も満足な指導を受けているとは言えないことになるのではないかと。 ・ 【No.24】働き方改革について 生徒への適切な対応の視点からも、先生方の健康面が一番大切であると考えてるので早期の改善が必要である。 <p style="text-align: right;">(学校評議員)</p>
改善方策	<p>・今後も、目指す生徒像、目指す学校像の実現に向けて、教職員一人一人が学校の教育活動の改善と充実、さらなる深化を図る意識をもつとともに、家庭との役割分担を明確にし、相互信頼を基盤とした保護者との「共育」を推進し、さらなる教育効果の向上を図る。</p>	
保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 【No.4】教育課程、【No.5】生徒指導、【No.18】ICT教育で、肯定的な回答(A+B)が80%を下回る結果となったが、その他の項目については肯定的な回答が80%を越えており、おおむね高い評価を得ることができていると考えられる。 ・ 【No.4】教育課程(生徒の課題や特性に応じた授業)について、80%を下回っており、新型コロナウイルス感染症対策のため授業参観の実施を学年ごとにして時間を制限するなどして充分ではなかったことが評価の低さの要因と考えられます。 また、生徒の課題やよさ、指導方法や内容等について保護者への分かりやすい説明と丁寧な対応に努め、保護者との共通理解を図ることが必要だと考えます。 ・ 【No.5】生徒指導(生徒との信頼関係)については、学年が上がるにつれてA値、B値が高くなる傾向が見られることから、関係性ができるまで粘り強く生徒の話に耳を傾けていくことが必要と考える。 ・ 【No.18】ICT教育(GIGAスクール構想に基づくICT教育の充実)については、保護者の中には20%近くがよくわからないと回答しており、より一層一人一台端末の有効活用を検討すると同時に、保護者に活用について情報発信を積極的に行い情報を共有することが必要がある。 ・ 【No.15】保護者対応(PTA活動)については、昨年よりイベントがアップしているが、これはPTA進路見学会、進路学習会、性教育研修会など徐々に活動を再開 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「やや不十分」と回答されていることについて ほぼどの質問も「やや不十分」の回答がみられ、学校に対して満足されていない保護者がいる様子が認められる。左記にあげた改善点を実行し、生徒、保護者、教職員の温度差が少なくなることを期待する。 ・ 【No.4】教育課程、【No.5】生徒指導について 生徒の特性上学校での出来事や先生のことなど家庭で様子を聞いても上手く内容が伝えられないことも多く保護者は状況を把握しにくいのではないかと。コロナ禍では尚更なので、学校からの情報発信も新しい方法があれば良いのかもしれない。 ・ 【No.6】生徒指導について この項目は保護者は知り得ないことではないか? ・ 【No.18】ICT教育について GIGAスクール構想について、タブレットを利用した学習がなぜ有効なのか保護者としては分かりづらい。 <p style="text-align: right;">(学校評議員)</p>

	<p>していることが関係していると考えられる。今後についても見通しは不透明だが、新型コロナウイルス感染症対策の徹底やより多くの保護者が安全に参加できる環境の整備や活動内容の充実を図り、組織の活性化に努めることが必要である。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の課題やよさ、指導方法や内容等について保護者への分かりやすい説明と丁寧な対応に努め、保護者との共通理解を図る。 ・ホームページの定期的な更新、学校だより及び学級通信の内容の充実に努め、保護者や地域に向けてのタイムリーな情報の発信に努める。 ・より多くの保護者が安全に参加できる環境の整備や活動内容の充実を図り、PTA活動の活性化に努める。 	
生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・【No. 8】生徒指導、【No. 9】学習指導において肯定的回答が80%を越えて高い評価を得ている。 ・「生徒指導」については、「社会人になるために必要な力」や「社会人として身に付けておくべき力」を明確にし、一人一人のよさや課題を的確に把握した継続的・一貫的な指導の成果と考えられる。 ・「学習指導」については、指導の根拠（なぜ学ぶのか）の提示や、一人一人の学びの特性に応じたきめ細かな指導、主体的、対話的で深い学びの視点からの授業の改善・充実に取り組んでいる成果と考えられる。 ・ポイントが高いと言うことは、生徒はそれなりに学習内容がの必要生を理解していることになるので、その次の段階の般化につなげられるようにすることが求められる。 ・「進路指導」については、肯定的回答が61%と低く、「わからない」の回答が27%あり、卒業後の生活や進路に見通しをもつことができていない生徒が3割程度いることになる。将来の生活や進路選択の不安が一因であると考えられるが、学年が進行するに従って肯定的な回答が高くなる傾向があることから、今後も、日々の授業やHR、生徒面談等をおして、生徒自身が将来の生活を具体的に見通せるように、個に応じた丁寧な進路指導にあたる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>学年ごとの回答について</u> 1学年では学校生活、進路、自己有用感などいろいろな項目で「わからない」が多いが、学年が上がり3学年にもなると「わからない」の回答がほぼすべて無くなることと見ると、先生方が時間をかけて生徒と向き合っていることが分かり大変ありがたいと思っている。新入生は、高校受験で今まで無い緊張を体験し先のことなど全く考えられない子が多いと思いますので、より早く信頼関係を築けると良いと思う。 ・ 「いいえ」「わからない」と回答について このアンケートを基に個別に対応する必要があると思う。聞かれている問いに関する理解が不十分と言うこともあるかと思う。学校で先生の説明を受けながら回答するのと、自宅に持ち帰って一人で回答するのでは結果が違ってくるかと思う。 学年が上がるにつれて肯定的な回答が多くなり、学校生活を長く送ることで得られることも多く先生方の手厚い指導の結果であると考えられる。 (学校評議員)
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・対人関係に対する不安や不満の解消、信頼関係の構築、自己有用感を高めるために、特別の教科道徳の指導を中心に、自己理解、他者理解に関わる指導の充実を図る。 ・日々の授業やHR、生徒面談等をおして、生徒自身が将来の生活を具体的に見通せるように、個に応じた丁寧な進路指導に努める。 	
公開方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページへの掲載 ・分析結果の配布（保護者） 	

3 添付資料

・令和4年度学校評価報告（アンケート集計・分析・結果）

令和4年度学校評価（保護者アンケート）集計結果（全学年）

《回収率44/48 91.7%》

【評価基準】 A：十分である B：おおむね十分である

項目	No.	評価項目	A	B	C	D	?	AとBの合計
教育方針	1	学校の方針や教育内容について、説明が十分に行われていますか。	25	15	2		2	83%
			52%	31%	4%		4%	
教育課程	2	個別の教育支援計画は、卒業後の自立や社会参加に向けて、本人や保護者のニーズに応じて作成されていますか。	24	17	2		1	85%
			50%	35%	4%		2%	
教育課程	3	個別の指導計画（通知表）は、本人や保護者のニーズに応じた学習の成果や課題などを分かりやすく伝えてありますか。	28	14	1		1	88%
			58%	29%	2%		2%	
教育課程	4	生徒の課題や特性に応じた授業が行われていますか。	22	16		2	4	79%
			46%	33%		4%	8%	
生徒指導	5	教職員は、生徒との信頼関係を築いて、生徒指導にあたっていますか。	27	10	1	2	3	77%
			56%	21%	2%	4%	6%	
生徒指導	6	教職員は、生徒に対して、生徒の人格を重んじ適切な言葉遣いや態度、身だしなみで指導にあたっていますか。	26	13	2	2	1	81%
			54%	27%	4%	4%	2%	
生徒指導	7	生徒のいじめや人間関係のトラブルなどに共通理解を図りながら適切に指導が行われていますか。	26	15	2		1	85%
			54%	31%	4%		2%	
安全指導	8	学校は、危機管理意識をもち、生徒の事故防止に向けた安全対策がとられていますか。	30	12			2	88%
			63%	25%			4%	
安全指導	9	学校は、生徒の環境衛生に気を配り、健康維持・増進に努めていますか。	32	12				92%
			67%	25%				
進路指導	10	学校は、卒業後の自立や社会参加に向けて様々な進路に関する情報を提供していますか。	26	16	2			88%
			54%	33%	4%			
情報発信	11	学校は、ホームページや学校だよりなどにより、保護者や地域に向けて適切に情報が発信されていますか。	25	17	1		1	88%
			52%	35%	2%		2%	
連携	12	学校は、愛別町をはじめ、福祉や労働関係機関と連携して教育活動を行っていますか。	28	15	1			90%
			58%	31%	2%			
保護者対応	13	教職員は、保護者の相談に適切に対応してくれますか。	29	13	2			88%
			60%	27%	4%			
保護者対応	14	教職員は、保護者に対して適切な言葉遣いや服装、態度で接していますか。	31	13				92%
			65%	27%				
保護者対応	15	学校は、生徒の健やかな成長を図るため、コロナ禍における創意工夫のあるPTA活動に努めていますか。	25	14	2		3	81%
			52%	29%	4%		6%	
保護者対応	16	学校は、生徒の学習や生活の様子について、適切に保護者に伝えていますか。	27	14	1	1	1	85%
			56%	29%	2%	2%	2%	
事務手続き	17	学校は、事務手続きの説明や相談に、適切に応じていますか。	24	17	3			85%
			50%	35%	6%			
ICT教育	18	学校は、GIGAスクール構想に基づき、ICTを活用して、個別最適な学びと協働的な学びの両立ができていますか。	18	15	2		9	69%
			38%	31%	4%		19%	
コロナ対策	19	学校は、「学校の新しい生活様式」などの国や道の通知に沿って、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に的確に努めていますか。	33	11				92%
			69%	23%				

未回答1

令和4年度学校評価（保護者アンケート）集計結果（学年ごと） 《回収率44/48 91.7%》

【評価基準】 A：十分である B：おおむね十分である
C：やや不十分である D：不十分である ?：分からない（判断できない）

項目	No.	評価項目		A	B	C	D	?
教育方針	1	学校の方針や教育内容について、説明が十分に行われていますか。	1学年	50%	25%	6%		
			2学年	56%	38%			
			3学年	50%	31%	6%		6%
			全体	52%	31%	4%		2%
教育課程	2	個別の教育支援計画は、卒業後の自立や社会参加に向けて、本人や保護者のニーズに応じて作成されていますか。	1学年	44%	31%	6%		
			2学年	56%	38%	6%		
			3学年	50%	38%			6%
			全体	50%	36%	4%		2%
教育課程	3	個別の指導計画（通知表）は、本人や保護者のニーズに応じた学習の成果や課題などを分かりやすく伝えていますか。	1学年	44%	38%			
			2学年	75%	19%	6%		
			3学年	56%	31%			6%
			全体	58%	29%	2%		2%
教育課程	4	生徒の課題や特性に応じた授業が行われていますか。	1学年	44%	31%		6%	
			2学年	50%	25%			25%
			3学年	44%	44%		6%	
			全体	46%	33%		4%	8%
生徒指導	5	教職員は、生徒との信頼関係を築いて、生徒指導にあたっていますか。	1学年	44%	31%		6%	
			2学年	56%	19%			19%
			3学年	69%	13%	6%	6%	
			全体	56%	21%	2%	4%	6%
生徒指導	6	教職員は、生徒に対して、生徒の人格を重んじ適切な言葉遣いや態度、身だしなみで指導にあたっていますか。	1学年	50%	25%		6%	
			2学年	44%	38%	13%		6%
			3学年	69%	19%			6%
			全体	54%	27%	4%	4%	2%
生徒指導	7	生徒のいじめや人間関係のトラブルなどに共通理解を図りながら適切に指導が行われていますか。	1学年	50%	31%			
			2学年	69%	25%	6%		
			3学年	44%	38%	6%		6%
			全体	54%	31%	4%		2%
安全指導	8	学校は、危機管理意識をもち、生徒の事故防止に向けた安全対策がとられていますか。	1学年	56%	25%			
			2学年	75%	13%			13%
			3学年	56%	38%			
			全体	62%	25%			4%
安全指導	9	学校は、生徒の環境衛生に気を配り、健康維持・増進に努めていますか。	1学年	63%	19%			
			2学年	69%	31%			
			3学年	69%	25%			
			全体	67%	25%			
進路指導	10	学校は、卒業後の自立や社会参加に向けて様々な進路に関する情報を提供していますか。	1学年	38%	38%	6%		
			2学年	69%	31%			
			3学年	56%	31%	6%		
			全体	54%	33%	4%		
情報発信	11	学校は、ホームページや学校だよりなどにより、保護者や地域に向けて適切に情報が発信されていますか。	1学年	44%	31%	6%		
			2学年	69%	25%			6%
			3学年	44%	50%			
			全体	52%	35%	2%		2%
連携	12	学校は、愛別町をはじめ、福祉や労働関係機関と連携して教育活動を行っていますか。	1学年	56%	19%	6%		
			2学年	69%	31%			
			3学年	50%	44%			
			全体	58%	31%	2%		
保護者対応	13	教職員は、保護者の相談に適切に対応してくれますか。	1学年	50%	25%	6%		
			2学年	75%	25%			
			3学年	56%	31%	6%		
			全体	60%	27%	4%		
保護者対応	14	教職員は、保護者に対して適切な言葉遣いや服装、態度で接していますか。	1学年	56%	25%			
			2学年	81%	19%			
			3学年	56%	38%			
			全体	64%	27%			
保護者対応	15	学校は、生徒の健やかな成長を図るため、コロナ禍における創意工夫のあるPTA活動に努めていますか。	1学年	44%	31%	6%		
			2学年	56%	31%			13%
			3学年	56%	25%	6%		6%
			全体	52%	29%	4%		6%
保護者対応	16	学校は、生徒の学習や生活の様子について、適切に保護者に伝えていますか。	1学年	50%	25%		6%	
			2学年	63%	31%	6%		
			3学年	56%	31%			6%
			全体	56%	29%	2%	2%	2%
事務手続き	17	学校は、事務手続きの説明や相談に、適切に応じていますか。	1学年	38%	38%	6%		
			2学年	56%	31%	13%		
			3学年	56%	38%			
			全体	50%	36%	6%		
ICT教育	18	学校は、GIGAスクール構想に基づき、ICTを活用して、個別最適な学びと協働的な学びの両立ができていますか。	1学年	25%	56%			
			2学年	44%	13%	13%		31%
			3学年	44%	25%			25%
			全体	38%	31%	4%		19%
コロナ対策	19	学校は、「学校の新しい生活様式」などの国や道の通知に沿って、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に的確に努めていますか。	1学年	56%	25%			
			2学年	81%	19%			
			3学年	69%	25%			
			全体	69%	23%			

令和4年度 学校評価(保護者アンケート)の分析

1 回収率の確認

44人 / 48人中 91.7%

2 設定項目からの分析

(1) 評価の高い項目の抽出 (A+Bの合計が80%以上の項目)

令和4年度 令和3年度

項目	No.	評価項目	A	B	C	D	?	AとBの合計	AとBの合計
教育方針	1	学校の方針や教育内容について、説明が十分に行われていますか。	25	15	2		2	83%	87%
			52%	31%	4%		4%		
教育課程	2	個別の教育支援計画は、卒業後の自立や社会参加に向けて、本人や保護者のニーズに応じて作成されていますか。	24	17	2		1	85%	91%
			50%	35%	4%		2%		
教育課程	3	個別の指導計画(通知表)は、本人や保護者のニーズに応じた学習の成果や課題などを分かりやすく伝えていきますか。	28	14	1		1	88%	91%
			58%	29%	2%		2%		
生徒指導	6	教職員は、生徒に対して、生徒の人格を重んじ適切な言葉遣いや態度、身だしなみで指導にあたっていますか。	26	13	2	2	1	81%	83%
			54%	27%	4%	4%	2%		
生徒指導	7	生徒のいじめや人間関係のトラブルなどに共通理解を図りながら適切に指導が行われていますか。	26	15	2		1	85%	87%
			54%	31%	4%		2%		
安全指導	8	学校は、危機管理意識をもち、生徒の事故防止に向けた安全対策がとられていますか。	30	12			2	88%	83%
			63%	25%			4%		
安全指導	9	学校は、生徒の環境衛生に気を配り、健康維持・増進に努めていますか。	32	12				92%	85%
			67%	25%					
進路指導	10	学校は、卒業後の自立や社会参加に向けて様々な進路に関する情報を提供していますか。	26	16	2			88%	83%
			54%	33%	4%				
情報発信	11	学校は、ホームページや学校だよりなどにより、保護者や地域に向けて適切に情報が発信されていますか。	25	17	1		1	88%	79%
			52%	35%	2%		2%		
連携	12	学校は、愛別町をはじめ、福祉や労働関係機関と連携して教育活動を行っていますか。	28	15	1			90%	87%
			58%	31%	2%				
保護者対応	13	教職員は、保護者の相談に適切に対応してくれますか。	29	13	2			88%	89%
			60%	27%	4%				
保護者対応	14	教職員は、保護者に対して適切な言葉遣いや服装、態度で接していますか。	31	13				92%	91%
			65%	27%					
保護者対応	15	学校は、生徒の健やかな成長を図るため、コロナ禍における創意工夫のあるPTA活動に努めていますか。	25	14	2		3	81%	66%
			52%	29%	4%		6%		
保護者対応	16	学校は、生徒の学習や生活の様子について、適切に保護者に伝えていきますか。	27	14	1	1	1	85%	85%
			56%	29%	2%	2%	2%		
事務手続き	17	学校は、事務手続きの説明や相談に、適切に応じていきますか。	24	17	3			85%	91%
			50%	35%	6%				
コロナ対策	19	学校は、「学校の新しい生活様式」などの国や道の通知に沿って、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に的確に努めていますか。	33	11				92%	
			69%	23%					

(2) 評価の低い項目の抽出 (A+Bの合計が80%以下の項目)

教育課程	4	生徒の課題や特性に応じた授業が行われていますか。	22	16	0	2	4	79%	70%
			46%	33%	0%	4%	8%		
生徒指導	5	教職員は、生徒との信頼関係を築いて、生徒指導にあたっていますか。	27	10	1	2	3	77%	87%
			56%	21%	2%	4%	6%		
ICT教育	18	学校は、GIGAスクール構想に基づき、ICTを活用して、個別最適な学びと協働的な学びの両立ができていきますか。	18	15	2	0	9	69%	
			38%	31%	4%	0%	19%		

3 集計からの分析

○3つの項目、教育課程【No.4】、生徒指導【No.5】及びICT教育【No.18】で、肯定的な回答(A+B)が80%を下回る結果となったが、その他の項目については肯定的な回答が80%を越えており、おおむね高い評価を得ることができていると考えられます。

○【No.4】教育課程(生徒の課題や特性に応じた授業)について
 昨年(70%)と比較すると9ポイントアップしたが、依然80%を下回っており、新型コロナウイルス感染症対策のため授業参観の実施を学年ごとにして時間を制限するなどして充分ではなかったことが評価の低さの要因と考えられます。
 また、生徒の課題やよさ、指導方法や内容等について保護者への分かりやすい説明と丁寧な対応に努め、保護者との共通理解を図ることが必要だと考えられます。

○【No.5】生徒との信頼関係をもつての生徒指導について
 学年が上がるにつれてA値、B値が高くなる傾向が見られます。関係性ができるまで粘り強く生徒の話に耳を傾けていくことが必要と考えます。

○【No.18】GIGAスクール構想に基づくICT教育の充実について
 保護者の中には20%近くがよくわからないと回答しており、より一層一人一台端末の有効活用を検討する必要が感じられます。

○【No.15】保護者対応(PTA活動)について
 昨年(66%)と比較するとポイントがアップしているが、これはPTA進路見学会、進路学習会、性教育研修会など徐々に活動を再開していることが関係していると考えられます。今後についても見通しは不透明だが、新型コロナウイルス感染症対策の徹底やより多くの保護者が安全に参加できる環境の整備や活動内容の充実を図り、組織の活性化に努めることが必要だと考えます。

令和4年度 学校評価(生徒アンケート) 集計結果(全学年) 《 回収率45/48 93.8% 》

【評価基準】 はい ・ いいえ ・ わからない

項目	No.	評価項目	はい	いいえ	わからない
満足度	1	この学校に入学してよかったですか	35	2	8
			73%	4%	17%
困り感	2	学校生活は楽しいですか	35	2	8
			73%	4%	17%
信頼関係	3	この学校に相談(信頼)できる先生はいますか	35	4	6
			73%	8%	13%
友人関係	4	この学校に相談(信頼)できる友達はいますか	33	6	6
			69%	13%	13%
相談体制	5	この学校に自分を助けてくれる人はいますか	32	4	9
			67%	8%	19%
進路指導	6	卒業後の生活や進路について考えることができますか	29	3	13
			60%	6%	27%
学習指導	7	分かりやすく授業を教えてくださいませんか	36	2	7
			75%	4%	15%
生徒指導	8	社会でのルールやマナーを教えてくださいませんか	40	0	5
			83%	0%	10%
学習の内容	9	学校で学習している内容は卒業後の生活に役に立つ内容ですか	39	0	6
			81%	0%	13%
自己有用感	10	この学校に自分を認めてくれる人がいますか	29	2	14
			60%	4%	29%

令和4年度 学校評価(生徒アンケート) 集計結果(学年ごと) 《 回収率45/48 93.8% 》

【評価基準】 はい ・ いいえ ・ わからない

項目	No.	評価項目		はい	いいえ	わからない
満足度	1	この学校に入学してよかったですか	1学年	44%	13%	25%
			2学年	81%		19%
			3学年	94%		6%
			全体	73%	4%	17%
困り感	2	学校生活は楽しいですか	1学年	44%	13%	25%
			2学年	75%		25%
			3学年	100%		
			全体	73%	4%	17%
信頼関係	3	この学校に相談(信頼)できる先生はいますか	1学年	50%	13%	19%
			2学年	81%	6%	13%
			3学年	88%	6%	6%
			全体	73%	8%	13%
友人関係	4	この学校に相談(信頼)できる友達はいますか	1学年	50%	19%	13%
			2学年	69%	13%	19%
			3学年	88%	6%	6%
			全体	69%	13%	13%
相談体制	5	この学校に自分を助けてくれる人はいますか	1学年	44%	19%	19%
			2学年	75%	6%	19%
			3学年	81%		19%
			全体	67%	8%	19%
進路指導	6	卒業後の生活や進路について考えることができますか	1学年	50%	13%	19%
			2学年	44%	6%	50%
			3学年	88%		13%
			全体	61%	6%	27%
学習指導	7	分かりやすく授業を教えてくださいますか	1学年	50%	6%	25%
			2学年	88%	6%	6%
			3学年	88%		13%
			全体	75%	4%	15%
生徒指導	8	社会でのルールやマナーを教えてくださいますか	1学年	56%		25%
			2学年	100%		
			3学年	94%		6%
			全体	83%		10%
学習の内容	9	学校で学習している内容は卒業後の生活に役に立つ内容ですか	1学年	63%		19%
			2学年	88%		13%
			3学年	94%		6%
			全体	82%		13%
自己有用感	10	この学校に自分を認めてくれる人がいますか	1学年	50%	6%	25%
			2学年	50%		50%
			3学年	81%	6%	13%
			全体	60%	4%	29%

令和4年度 学校評価(生徒アンケート)の分析

1 回収率の確認

45人 / 48人中 93.8%

2 設問項目からの分析

(1) 評価の高い項目の抽出(肯定的回答が80%を上回った項目)

項目	No.	評価項目	令和4年度	令和3年度
			%	%
生徒指導	8	社会でのルールやマナーを教えてください	83%	87%
学習の内容	9	学校で学習している内容は卒業後の生活に役に立つ内容ですか	82%	79%

(2) 評価の低い項目の抽出(肯定的回答が80%を下回った項目)

項目	No.	評価項目	令和4年度	令和3年度
			%	%
満足度	1	この学校に入学してよかったですか	73%	77%
困り感	2	学校生活は楽しいですか	73%	66%
信頼関係	3	この学校に相談(信頼)できる先生はいますか	73%	72%
友人関係	4	この学校に相談(信頼)できる友達はいますか	69%	77%
相談体制	5	この学校に自分を助けてくれる人はいますか	67%	74%
進路指導	6	卒業後の生活や進路について考えることができますか	61%	64%
学習指導	7	分かりやすく授業を教えてください	75%	87%
自己有用感	10	この学校に自分を認めてくれる人がいますか	60%	57%

(3) 「わからない」と回答した項目の抽出

項目	No.	評価項目	令和4年度	令和3年度
			%	%
満足度	1	この学校に入学してよかったですか	17%	15%
困り感	2	学校生活は楽しいですか	17%	19%
信頼関係	3	この学校に相談(信頼)できる先生はいますか	13%	19%
友人関係	4	この学校に相談(信頼)できる友達はいますか	13%	13%
相談体制	5	この学校に自分を助けてくれる人はいますか	19%	15%
進路指導	6	卒業後の生活や進路について考えることができますか	27%	30%
学習指導	7	分かりやすく授業を教えてください	15%	19%
生徒指導	8	社会でのルールやマナーを教えてください	10%	6%
学習の内容	9	学校で学習している内容は卒業後の生活に役に立つ内容ですか	13%	15%
自己有用感	10	この学校に自分を認めてくれる人がいますか	29%	34%

(4) 肯定的回答(「はい」)が80%以上の項目についての分析

<p>□2項目～No. 8「生徒指導」(83%)、No. 9「学習指導」(82%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生徒指導」については、「社会人になるために必要な力」や「社会人として身に付けておくべき力」を明確にし、一人一人のよさや課題を的確に把握した継続的・一貫的な指導の成果と考えられる。 ・「学習指導」については、指導の根拠(「なぜ学ぶのか」)の提示や、一人一人の学びの特性に応じたきめ細かな指導、主体的、対話的で深い学びの視点からの授業の改善・充実に取り組んでいる成果と考えられる。 ・ポイントが高いということは、生徒はそれなりに学習内容がの必要生を理解していることになるので、その次の段階の般化につなげられるようにすることが求められる。
--

(5) 肯定的回答(「はい」)が70%以下の項目についての分析

<p>□4項目～No. 4「友人関係」(69%)、No. 5「相談体制」(67%)、No. 6「進路指導」(61%)、No. 10「自己有用感」(60%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「友人関係」、「相談体制」について低い評価になっており、対人関係の構築やコミュニケーション能力、課題解決能力に課題が見て取れる。対人関係に対する不安や不満の解消、信頼関係の構築、自己有用感を高めるために、特別の教科道徳の指導を中心に、自己理解、他者理解に関わる指導の充実を図る必要がある。 ・「自己有用感」についても、自分の認めてくれる人はいるかの回答で「わからない」が3割近くいることから、自分に対する自信のなさが原因と考えられる。自分で限界を決めてこれ以上はできないと早くに諦めてしまい、一歩踏み出す経験を後押しして達成感を感じられるような指導が求められる。 ・「進路指導」については、肯定的回答が61%と低く、「わからない」の回答が27%あり、卒業後の生活や進路に見通しをもつことができている生徒が3割程度いることになる。将来の生活や進路選択の不安が一因であると考えられるが、学年が進行するに従って肯定的な回答が高くなる傾向があることから、今後も、日々の授業やHR、生徒面談等とおして、生徒自身が将来の生活を具体的に見通せるように、個に応じた丁寧な進路指導にあたる必要がある。
--

令和4年度 学校評価（教職員アンケート）集計結果 《回収率23/23 100%》

【評価基準】 A：分である B：おおむね十分である C：やや不十分である D：不十分である

項目	No.	評価項目	A	B	C	D	合計(A+B)
経営方針	1	本校は、学校教育目標や教育方針、経営方針の達成に向けて、教育実践をしている。	8 35%	15 65%			100%
教育課程	2	本校は、個別の教育支援計画を、本人や保護者の意見を反映させて、作成している。	12 52%	10 43%	1 4%		96%
教育課程	3	本校は、個別の指導計画（通知表）を、本人や保護者の意見を反映させた目標や手立てを立て、適切に評価している。	4 17%	15 65%	4 17%		83%
教育課程	4	本校は、特別支援教育の専門性を基盤に、個に応じた授業を行っている。	7 30%	14 61%	2 9%		91%
教育課程	5	本校は、各教科、道徳、特別活動、自立活動、総合的な探求の時間の年間授業時数は、適切に配当されている。	10 43%	12 52%	1 4%		96%
教育課程	6	本校は、学習活動が効果的に展開できるよう週時程表が作成され、適切に運用されている。	10 43%	12 52%	1 4%		96%
生徒指導	7	本校は、生徒との信頼関係に基づき、社会で必要なマナーやルールについて指導を行っている。	8 35%	13 57%	2 9%		91%
生徒指導	8	本校は、生徒の人格や人権を尊重し、適切な言葉遣いや態度、身だしなみで指導を行っている。	9 39%	12 52%	2 9%		91%
生徒指導	9	本校は、生徒の問題行動の早期発見に努め、組織的な指導と関係機関との連携に努めている。	9 39%	14 61%			100%
安全指導	10	本校は、常に危機管理意識をもち、その防止に向けた対策に基づく実践に努めている。	8 35%	13 57%	2 9%		91%
安全指導	11	本校は、学校の環境衛生に気を配り、生徒の健康保持・増進に努めている。	12 52%	11 48%			100%
進路指導	12	本校は、地域の様々な企業や福祉事業所等の情報収集と生徒の実態把握を意識した進路指導に努めている。	11 48%	12 52%			100%
情報発信	13	本校は、教育方針や教育内容について、保護者や地域に適切に情報を発信している。	7 30%	14 61%	2 9%		91%
連携	14	本校は、地域の福祉や労働機関と連携した教育活動に積極的に取り組んでいる。	11 48%	12 52%			100%
連携	15	本校は、教育相談をはじめ、地域の関係機関や小・中・高と連携し、特別支援教育のセンター的役割を果たしている。	13 57%	10 43%			100%
保護者対応	16	本校の職員は、懇談等において、特別支援教育の専門的な見地から生徒の特性を捉え、適切な助言を行い、保護者との合意形成を図っている。	7 30%	16 70%			100%
保護者対応	17	本校の職員は、保護者に対して適切な言葉遣いや服装、態度で接している。	10 43%	13 57%			100%
保護者対応	18	本校は、教育公務員という立場を自覚して、服務規律の遵守に努めている。	13 57%	8 35%	2 9%		91%
保護者対応	19	本校は、生徒の健やかな成長を図るため、コロナ禍における創意工夫のあるPTA活動に努めている。	4 17%	18 78%	1 4%		96%
保護者対応	20	本校は、生徒の様子等について、その重要性や緊急性、適時性などにより、適切に伝えるよう努めている。	12 52%	10 43%	1 4%		96%
事務手続き	21	本校は、就学奨励費、学校納入金など丁寧な説明、相談に応じている。	11 48%	11 48%	1 4%		96%
ICT教育	22	本校はGIGAスクール構想に基づき、ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの両立に努めている。	9 39%	12 52%	2 9%		91%
コロナ対策	23	本校は、「学校の新しい生活様式」などの国や道の通知に沿って、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に的確に努めている。	11 48%	12 52%			100%
働き方改革	24	本校は、健康でやりがいをもって勤務できるよう、業務の分担や協働を意識して業務の改善を図っている。	5 22%	11 48%	7 30%		70%

意見等

【安全指導】

No. 10: 登校時間、下校時間以外の生徒玄関の施錠をしっかり行う。

→危機管理意識を高くもって業務に当たる。

【ICT教育】

No. 22: タブレット導入に伴いGIGAスクール構想の要件を再確認して、出停や臨休時に備えて生徒の持ち帰りに向けて準備する必要がある。

→タブレットの持ち帰りについて整備を進める。

【働き方改革】

No. 24: 職員室が寒すぎる。

→建物の構造を理解し、防寒対策を進める。

No. 24: そろそろ時間外は留守番電話対応にしてもよいと思う。学校携帯電話の導入を考えるべき。

→今後検討することも必要。

【働き方改革】

No. 24: 業務内容の精選。マニュアル化して誰でも対応できるようにする。

→業務削減を念頭におくと同時に、引継ぎの資料、データを整理する。

令和4年度 学校評価保護者アンケートと教職員アンケートの比較

1 保護者、教職員アンケートの共通項目からの分析

(1) A+Bの値で、保護者、教職員ともに評価が高い項目

項目	評価項目	教職員	保護者	評価項目
教育方針	教職員No. 1 保護者No. 1	100%	83%	教育方針や教育内容の説明について
教育課程	教職員No. 2 保護者No. 2	96%	85%	個別の教育支援計画について
教育課程	教職員No. 3 保護者No. 3	83%	88%	個別の指導計画(通知表)について
生徒指導	教職員No. 8 保護者No. 6	91%	81%	生徒への適切な言葉遣い、服装、態度について
生徒指導	教職員No. 9 保護者No. 7	100%	85%	生徒の問題行動の早期発見、適切な指導と連携について
安全指導	教職員No. 10 保護者No. 8	91%	88%	事故防止に向けた安全対策について
安全指導	教職員No. 11 保護者No. 9	100%	92%	健康維持・増進について
進路指導	教職員No. 12 保護者No. 10	100%	88%	進路に関する情報提供について
情報発信	教職員No. 13 保護者No. 11	91%	88%	保護者や地域に向けての情報発信について
連 携	教職員No. 14 保護者No. 12	100%	90%	地域と連携した教育活動について
保護者対応	教職員No. 16 保護者No. 13	100%	88%	保護者の相談への対応について
保護者対応	教職員No. 17 保護者No. 14	100%	92%	保護者への適切な言葉遣い、服装、態度について
保護者対応	教職員No. 19 保護者No. 15	96%	81%	PTA活動について
保護者対応	教職員No. 20 保護者No. 16	96%	85%	生徒の様子等の共有について
事務手続き	教職員No. 21 保護者No. 17	96%	85%	事務手続きの説明や相談について
コロナ対策	教職員No. 23 保護者No. 19	100%	92%	新型コロナウイルス感染症の拡大防止について

(2) A+Bの値で、保護者の評価が低く、職員の評価が高い項目

教育課程	教職員No. 4 保護者No. 4	91%	79%	生徒の課題や特性に応じた授業について
生徒指導	教職員No. 7 保護者No. 5	91%	77%	生徒との信頼関係について
ICT教育	教職員No. 22 保護者No. 18	91%	69%	ICT機器の活用について

2 考察(項目別)

①教育方針 教職員No.1 保護者No.1	○教職員、保護者ともに高い評価になった。 ・次年度も学校教育目標や教育内容の丁寧な説明に努め、目指す生徒像、目指す学校像の実現を図る。
②教育課程 教職員No.2、3、4 保護者No.2、3、4	○個別の教育支援計画、個別の指導計画(通知表)については、教職員、保護者ともに高い評価になった。 ●生徒の課題や特性に応じた授業については、教職員と比較して保護者の評価はやや低い評価となった。 ・生徒の課題やよさ、生徒の目標や指導内容・方法、変容等について、具体的な目標設定や評価をとおして、保護者と共通理解を図り、開かれた教育課程の深化・充実を図る。
③生徒指導 教職員No.7、8、9 保護者No.5、6、7	○教職員、保護者ともに高い評価になったが、教職員に比較すると保護者のポイントは低くなっていることから、発信する教職員と受け取る側の保護者との乖離がみられる。 ・人間関係のトラブルについては、日常的な観察による早期発見に努めるとともに、生徒指導委員会を中心とした組織的な対応の継続と関係機関との連携を図るなど、保護者への丁寧な説明をとおして、説明責任を果たし保護者との共通理解を図る。 ●生徒と教職員間の信頼関係について、保護者の受け止め方が教職員よりも低い結果となった。 ・次年度も、教職員一人一人が生徒の人格を尊重した指導、社会人としてのモデルであることの自覚と責任のある言動をとおして、生徒との信頼関係の構築に努める。
④安全指導 教職員No.10、11 保護者No.8、9	○教職員、保護者ともに高い評価になった。 ・防災点検(月末)及び日常的な点検による早期発見・対応に努め、施設・設備の安全対策を徹底する。 ・学校の環境衛生に気を配り、生徒の健康保持・増進に努める。
⑤進路指導 教職員No.12 保護者No.10	○教職員、保護者ともに高い評価になった。 ・保護者からは高い評価(支持)が得られているが、生徒からは低い評価(61%)となっている項目であるので、生徒自身が将来の生活を具体的に見通せるように、日々の授業やHR、生徒面談等をとおして、個に応じた丁寧な進路指導に努める必要がある。
⑥情報発信 教職員No.13 保護者No.11	○教職員、保護者ともおおむね高い評価であった。 ・HPの更新や学校だよりの定期的な発行をとおして、保護者及び地域に向けて適切な情報提供に努める。 学年通信における記載内容を工夫(学習の様子だけではなく、学習のねらい等を記載するなど)し、指導内容等への保護者の理解を深める。
⑦連携 教職員No.14 保護者No.12	○教職員、保護者ともに高い評価になった。 ・前年度の評価に基づき、愛別町、関係機関との連携の改善・充実を図り、教育活動のさらなる充実に努める。 ・HPのタイムリーな更新をとおして、保護者及び地域に向けて適切な情報提供に努める。
⑧保護者対応 教職員 No.16,17,18 保護者 No.13,14,15	○保護者への相談対応、服務規律の遵守、生徒の情報伝達については、教職員、保護者ともに高い評価になった。 ・次年度も、教職員一人一人が教育公務員としての自覚と責任をもち、服務規律の遵守に努めるとともに、保護者への丁寧な対応と細やかな説明に努め、保護者との共通理解を深める。 ○PTA活動については、教職員(86%→96%)、保護者(66%→81%)ともに昨年度より高い評価になっている。 ・今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大対策を取りながら進路見学会、進路学習会、性教育研修会などを実施することができた。会員が参加しやすく会員相互の情報交換の場となるよう、PTA活動の内容の改善・充実を図る。
⑨事務手続き 教職員No.21 保護者No.17	○教職員、保護者ともに高い評価になった。 ・次年度も、丁寧な説明や対応に努める。
⑩ICT教育 教職員No.22 保護者No.18	●教職員、保護者との間で評価に開きがみられ、保護者の評価が低かった。 ・保護しゃん評価の低い原因に「わからない」「？」で回答している方が全体の平均にして2割いることが考えられる。ICT機器の活用について情報を保護者と共有することが求められる。
⑪コロナ対策 教職員No.23 保護者No.19	○教職員、保護者ともに高い評価になった。 ・次年度も、学校のあたらし生活様式を基本にして工夫や新しいアイデアを取り入れて、教育活動を維持するよう努める。

3 考察(全体)

<p>・保護者アンケートと職員アンケートを比較した結果、それぞれの評価項目で著しく低い、緊急の改善を要する項目は見受けられないが、目指す生徒像、目指す学校像の実現に向けて、教職員一人一人が学校の教育活動の改善と充実、さらなる深化を図る意識をもつとともに、個別の教育支援計画や個別の指導計画を中心に、学習のねらいや評価を常に保護者と共有して、家庭と学校との役割分担を明確にし、相互信頼を基盤とした保護者との「共育」を推進し、さらなる教育効果の向上を図ることが必要であると考えます。</p>
